

お茶を飲みながら スペイン語で話す会

3月18日(土)、当財団のスペイン語通訳・翻訳ボランティアのスキル維持またはスキルアップを目的に、ペルー出身のミゲルポンセさんを囲み「お茶を飲みながらスペイン語で話す会」を開催しました。VIVA!ひめじのスペイン語翻訳ボランティア2名を含む5名が参加しました。



参加のルールは、「最初から最後までスペイン語で会話する」です。参加者のみなさんは、姫路でスペイン語漬けの経験はなかなかできないと、約2時間スペイン語でオンリーで会話を楽しみました。

お互いに趣味や特技の話をしたり、ミゲルさんがペルー発祥の縦笛「ケナ」を演奏



してくれたり、とても楽しい時間を過ごしました。ペルー料理など、ミゲルさんの母国についての話が聞きたいとのリクエストもあり、第2回を開催することも快諾してくれました。ミゲルさん、Gracias!

